学校番号	416

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学応用演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	基本と演習テーマ　数学Ⅰ＋Ａ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

各単元において基礎的な内容を中心に扱う。就職試験や看護系の試験で問われる内容については発展的な内容についても扱う。問題演習の経験を積み，苦手な生徒にも丁寧に指導するため，演習の割合を増やしている。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基礎的な知識を身につけ，事象を数学的に表現･説明する仕方や推論の方法などの技能を身につける。
【思考力，判断力，表現力等】
事象を数学的に考察し，事象を数学的に表現・説明することができる。
【学びに向かう力，人間性等】
数学の良さを認識し，それらを主体的に活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，２次関数，三角比，確率における基礎的な知識を身につけ，事象を数学的に表現・説明する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数と式，２次関数，三角比，確率において，事象を数学的に考察したうえで数学的に表現･説明することができる。	数と式，２次関数，三角比，確率における考え方に関心をもち，考え方のよさを理解したうえで，それらを事象の利用し，主体的に活用する態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	・単項式と多項式 ・指数法則 ・乗法公式 ・因数分解 ・有理数 ・絶対値 ・根号含む計算	a：展開および因数分解の公式を理解し，式を整理することができる。 b：式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解している。 四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。 c：展開と因数分解の関係に着目し，因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。 分母に根号を含む式について，分母を有理化することの意義を理解しようとする。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート
		・不等式の性質 ・１次不等式 ・連立１次不等式 ・１次不等式の応用	a：不等式の意味を理解し，1次不等式および連立不等式を解くことができる。 b：不等式の解を数直線上に表すことができる。 c：不等号の意味と数量の関係を不等式で表す意義を理解しようとする。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート
2学期	2次関数	・$y = ax^2$ などのグラフ ・平方完成 ・グラフの平行移動 ・２次関数の最大・最小 ・２次関数の決定	a：２次関数が最大値・最小値をもつことを理解し，定義域に制限がある場合についても求めることができる。 b：２次関数の最大･最小を，図を使い考察しようとする。 c：２次関数の決定において，条件を処理するのに適した式の形を見つけようとし，適切に用いようとする。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート

2学期	図形と計量	・鋭角の三角比 ・三角比の拡張	a: 三角比の相互関係を理解し，それを用いて１つの値から残りの値が求められる。 b: $sin^2\theta + cos^2\theta = 1$を三平方の定理としてとらえることができる。 c: 正弦定理およびの図形的意味を考えようとする。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート
3学期	場合の数と確率	・事象と確率 ・和事象・積事象と確率 ・余事象とその確率 ・独立な試行の確率 ・反復試行の確率 ・条件付き確率	a: 確率について，基本的な概念，用語･記号などを理解し，値として表現できる。 b: 率の基本性質や考え方を用いて，くじ引きの確率などの事象の確率を考察し，問題解決できる。 c: 確率の基本性質や考え方を用いて経験からの確率や期待値について考察できる。	定期考査 小テスト	小テスト 学習活動への取組み 課題，提出物の状況	学習活動への取組み 課題，提出物の状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度